

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【119】
2. 日時：令和4年3月16日 10時00分～12時10分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

植木主任安全審査官、大野主任安全審査官、宇田川安全審査官、服部（靖）

安全審査専門職、山浦技術参与※

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

堀野技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他12名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力技術部 設備技術室 担当※

5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書（原子炉本体の基礎等）について、令和4年2月24日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【原子炉圧力容器スタビライザの耐震性についての計算書】

- スタビライザ応力評価点P2（ブラケット）について、構造及び評価上の厳しさを踏まえた評価点位置の設定の考え方を説明すること。
- ブラケットについて、組合せ応力の評価を不要とする理由を記載して説明すること。

【ドライウエルの耐震性についての計算書】

- 燃料交換時の鉛直方向地震荷重の算出方法を説明すること。
- 水平方向地震荷重について、座屈評価に用いる荷重を個別に設定している理由を説明すること。
- 座屈評価に用いる地震荷重算出の際に適用した組合せ係数法について、組み合わせる荷重の方向、水平方向と鉛直方向の組合せ係数及び

自重の取扱いを説明すること。

【機器搬入口の耐震性についての計算書】

- 理論式により固有値を算出する方法の詳細を説明すること。

【電気配線貫通部の耐震性についての計算書】

- 概略構造図について、貫通部のサポートなど耐震計算で考慮している部材が明確になるよう適正化すること。
- 地震応答解析モデルの図について、支持部のばねや節点を追加、修正するなどして、実際の解析モデルを正確に表現したものにする事。
- 応力解析モデルについて、電気配線貫通部先端に単位荷重を負荷する方法を説明すること。また、解析により求めた単位荷重に対する応力から実際の応力を算出する方法を記載して説明すること。

- (3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

なし